

14 海の豊かさを
守ろう



Sustainable Report No.156

海洋プラスチックには どんな影響があるのか

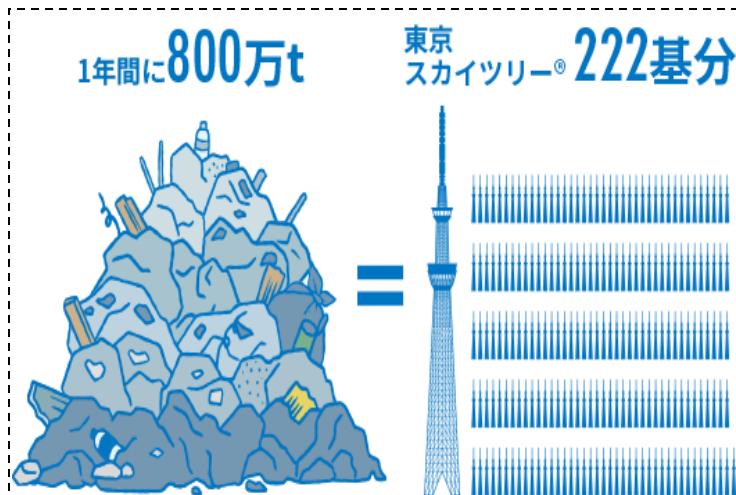


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取り組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

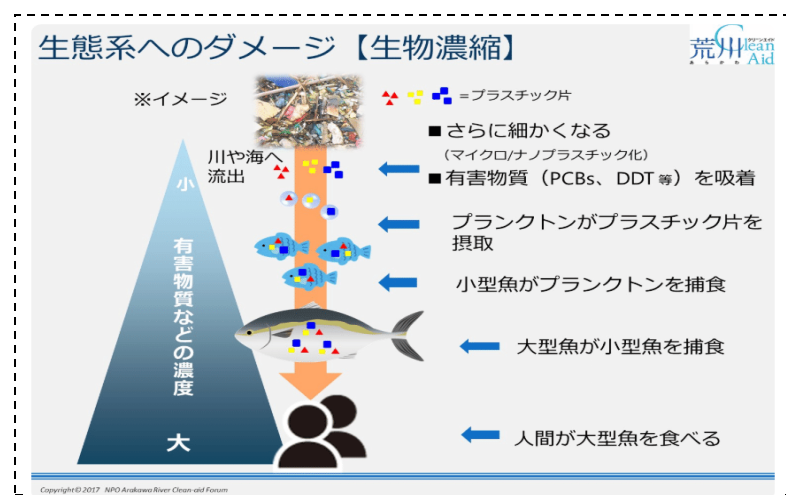
- 世界の海には、**毎年約800万トンものプラスチックごみが流出**していると推計されており、1分間にゴミ収集車1台分が海に投棄されている計算となる。
- その大半は、ポイ捨てや不適切な廃棄物管理によって発生し、雨風によって川へと流れ込み、**やがて海にたどり着く**経路をたどる。
- 生き物に誤って飲み込まれたそれらは消化されず体内に蓄積され、腸閉塞などにより**命を落とす原因となる**ほか、人間にも免疫低下やホルモン異常などの健康影響を及ぼす可能性が示唆されている。

■ 海に流れる大量のごみ



出典：象印マホービン

■ プラスチックの人体への悪影響



出典：プラスチックの人体への悪影響

▶NEXT：包装・容量・素材の最適化（株式会社良品計画）

■ 実行者／解決方法／残る課題

- 無印良品は、提供する商品やサービスや活動を通じて、資源循環型・自然共生型の社会、持続可能な社会の実現を目指し、**容器素材の見直しや資源循環を前提とした取組み**を積極的に展開している。
- たとえば、飲料容器をアルミ缶に変更し、詰め替え商品のパッケージを再生紙素材に置き換えることで、**脱プラスチックとごみ排出抑制の両立**を図っている。
- 商品単体での工夫にとどまらず、**生活者の購買行動やごみ排出習慣を変える仕組みづくり**が次の課題として企業に求められている。

■ ペットボトルからアルミ缶への移行へ



リサイクル率98%のアルミ缶の採用により脱プラを進めるとともに、遮光性によって賞味期限を延ばしフードロスの削減にもつなげている。

出典：日本経済新聞

■ ヘアケア・ボディソープ・ハンドソープ



日用品の詰め替え容器を再生紙などに置き換えつつ大容量化を進めることで、買い物頻度と細かなプラスチックごみの削減を両立している。

出典：株式会社良品計画

▶NEXT：日常に埋もれた課題を、構造から問い直す

■ 残る課題の原因／理想／企業施策

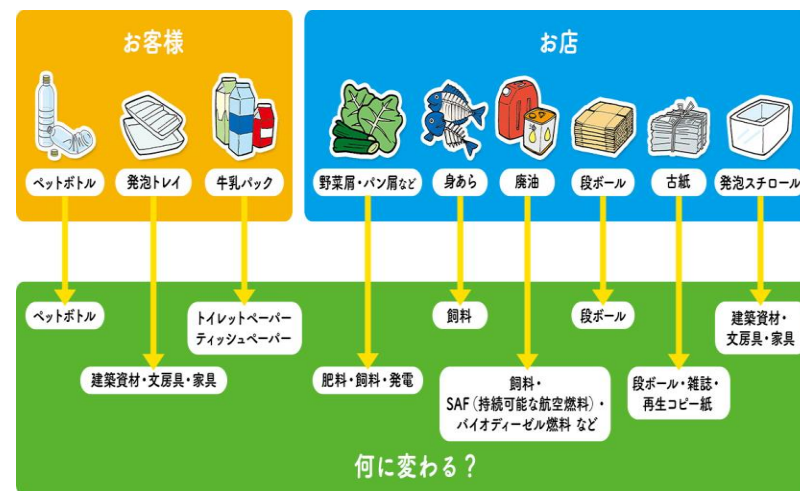
- プラスチックは適切に扱えば資源となるにもかかわらず、**分別不良や不法投棄**によって再利用されずにごみとして環境中に放出されている未利用資源がある。
- 消費・分別・回収・再資源化が**社会全体で円滑につながる循環構造**が確立されている状態こそが、企業と生活者の両者にとって理想的な社会像である。
- 商品やサービスの提供段階から**回収や再利用を前提とした設計・情報発信**を行うことで、企業は社会全体の資源循環を牽引する役割を果たすことができる。

■ 透明ゴミ箱



中身が分かる分別ごみ箱

■ 資源リサイクルの実績



出典：株式会社いねげや

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

●発信者,「象印マホービン」,2025年8月25日 <https://www.zojirushi.co.jp/life/sea/>

●発信者,「日本経済新聞」,2025年8月25日

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC2192M0R20C21A4000000/?msockid=38563f90648365c916282a2b6551640b>

● 発信者,「良品計画、ペットボトルをアルミ缶に 脱プラスチックで」, 2025年8月25日 <https://www.ryohin-keikaku.jp/topics/034927.html>

●発信者,「株式会社いなげや」, 2025年8月25日 <https://www.inageya.co.jp/company/activity/recycling.html>

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。